

# PRESS RELEASE

報道関係者各位

2024年11月26日  
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリ

サステナビリティ

## 「ウッドデザイン賞 2024」、野村不動産グループの3プロジェクトが受賞

～奥多摩町で保有する森を育成し、地産地消で事業活用する「森をつなぐ、東京プロジェクト」などが評価～

### 本プレスリリースのポイント


1. 今年で創設10年目、木の良さや価値を活かした取組みを評価する「ウッドデザイン賞」を3プロジェクトが受賞
2. コミュニケーション分野では、奥多摩町で保有する森の木を地産地消で自社アセットの開発に活用する「森を、つなぐ」東京プロジェクトが選出
3. 建築・空間分野では、健康増進型・賃貸シニアレジデンス「オウカス 世田谷仙川（東京都世田谷区）」及び木質サステナブルオフィス「野村不動産溜池山王ビル（東京都港区）」がそれぞれ選出

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：新井 聡、以下「当社」）は、「ウッドデザイン賞 2024」（一般社団法人 日本ウッドデザイン協会主催）において、当社グループの、『「森を、つなぐ」東京プロジェクト』、『オウカス 世田谷仙川』、『野村不動産溜池山王ビル』の3プロジェクトが受賞したことをお知らせいたします。



【写真左：野村不動産溜池山王ビル、右上：オウカス 世田谷仙川、右下：「森を、つなぐ」東京プロジェクト】

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

# PRESS RELEASE

## 1. 「ウッドデザイン賞 2024」について

「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。「ライフスタイルデザイン部門」「ハートフルデザイン部門」「ソーシャルデザイン部門」の3つの部門で構成され、賞の創設以来、10年目の開催を迎える今年は、応募総数366点のうち226点が選出されました。

<ウッドデザイン賞 2024 実施概要>

主催：一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

後援：農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

応募対象分野：建築・空間分野、技術・建材分野、プロダクツ分野、  
コミュニケーション分野、調査・研究分野



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2024

公式ホームページ：<https://www.wooddesign.jp/>

## 2. 当社グループ受賞プロジェクトについて

### ① 『「森を、つなぐ」東京プロジェクト』(コミュニケーション分野/ソーシャルデザイン部門)

「森を、つなぐ」東京プロジェクトは、東京都西多摩郡奥多摩町にて保有する「つなぐ森」を含む東京の自然と都市を舞台に、気候変動や生物多様性の損失等の社会課題の解決に向けて、多様な共創パートナーと連携しながら、自然と都市の共生のモデルケースとなることを目指し推進している取り組みです。

当社グループの主要な事業領域である東京都で森を保有することで、木材生産(森づくり)や木材加工において地域の森林事業体や製材加工会社等の事業者含む他企業と連携し、木材生産、一次製材、二次製材、メーカーなど、木材利用の川上から川下までの一貫したサプライチェーンを構築した上で、当社グループ事業における森林の利活用を開始しています。



【「つなぐ森」自然環境と人間活動を総合的に取り扱い、課題解決を導き出す「ランドスケープアプローチ」のイメージ】

### <「つなぐ森」概要>

所在：東京都西多摩郡奥多摩町


面積：実測 約130ha (登記簿 約79ha)

立木：スギ・ヒノキ 74.2% (平均林齢63年)、広葉樹 25.8%

その他：敷地内林道(寸庭線/奥多摩町所管林道)、  
寸庭川(奥多摩町管理河川)あり



あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

# PRESS RELEASE

## ② 『オウカス 世田谷仙川』(建築・空間分野/ライフスタイルデザイン部門)

オウカスは、「住むだけで身心ともに自然と健康になれる仕組み」を備え、ご入居者及びご家族の皆様の健康寿命の延伸を支援し「世界一の人生づくり」を目指す、健康増進型・賃貸シニアレジデンスです。現在、首都圏に 9 物件を展開（今後開業予定含む）しております。

オウカス世田谷仙川は、世田谷区内で約 9 ha の広大な緑に囲まれた希少な立地で、地域の人々の well-being を高めるまちとして生まれた「SETAGAYA Qs-GARDEN」の敷地内に位置し、2023 年 8 月に開業しました。

「SETAGAYA Qs-GARDEN」のまちの中心となる芝生広場に向け、地域に開いた交流拠点となる木造フィットネス・カフェ棟を設け、その外壁などには多摩産材を用い、積極的に木質化することで、東京都「木の街並み創出事業」認定を受ける等、エリア内の広大な杜と親和性のある建物としています。



【オウカス 世田谷仙川 木造フィットネス・カフェ棟】

所在地	東京都世田谷区給田 1 丁目 11 番 1 (住居表示)
交通	京王線「仙川」駅より徒歩 14 分、京王線「千歳烏山」駅より徒歩 15 分
類型	サービス付き高齢者向け住宅 (バリアフリー構造で、入居者の安否確認や生活相談サービスの提供などを行うことが定められている賃貸住宅)
敷地面積	9,064.00 m <sup>2</sup>
延床面積	11,521.05 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造・一部木造) 地上 4 階建
総戸数・間取り	186 戸・1K、1R、1DK、1LDK、2DK、2LDK
専有面積 ・戸数	20~21 m <sup>2</sup> ・3 戸、25~35 m <sup>2</sup> ・62 戸 (1 人入居)、 36~60 m <sup>2</sup> ・121 戸 (2 人入居可)
共用部	ダイニング、ゲストダイニング、大浴場 (人工温泉)、フィットネススタジオ、コミュニティカフェ、 ゲストルーム、カラオケ&シアタールーム、ライブラリー & ラウンジ、コンシェルジュデスク、美容室等
開業年月	2023 年 8 月 20 日
事業主	野村不動産株式会社
運営会社	野村不動産ウェルネス株式会社
設計	株式会社熊谷組 (実施設計・基本設計) 株式会社日建ハウジングシステム (基本設計・デザイン監修)
施工	株式会社熊谷組



# PRESS RELEASE

## ③ 『野村不動産溜池山王ビル』(建築・空間分野/ソーシャルデザイン部門)

野村不動産溜池山王ビルは、旧野村不動産溜池ビルの建て替え事業として推進し、2023年10月に竣工した木質サステナブルオフィスです。清水建設株式会社(本社:東京都中央区/代表取締役社長:井上和幸)の「シミズ ハイウッド®」を活用し木質建築部材と鉄骨造を合理的に組合せ、高い耐震性と耐火性を確保しつつ心地よい無柱の木質オフィス空間を実現しました。この開放的な無柱空間を創出することで、ワーカーの健康と知的生産性の向上を目指しています。その他、外装は格子状の木質ファサードにより印象的な都市景観を創出し、エントランスはスギ材のルーバーを一定の規則性をもって配置し、内外に渡り植栽を配置することで、外部環境を取り込んだ親自然的な空間とする等、木質化の取組を積極的に採用したオフィス事例です。
















【野村不動産溜池山王ビル】

所在地	東京都港区赤坂 1-1-14
貸主	野村不動産株式会社
竣工	2023年10月31日
建物構造/規模	鉄骨造一部木造/地下1階 地上9階
用途	事務所
設計監理	清水建設株式会社一級建築士事務所
監修	野村不動産株式会社一級建築士事務所
施工	清水建設株式会社

# PRESS RELEASE

## 野村不動産グループのマテリアリティとSDGsについて

野村不動産グループ マテリアリティ				
 DECARBONIZATION 脱炭素	 BIODIVERSITY 生物多様性	 CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン	 DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	 HUMAN RIGHTS 人権
本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)		
 DECARBONIZATION 脱炭素	不動産デベロッパーとして、まずは「省エネ」「低炭素化」の建物開発に取り組みながら、「再エネ」の導入も推進。サプライチェーン全体でCO2総排出量の削減を実現していきます。	 6 安全な水とトイレを世界中に	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 11 住み続けられるまちづくりを
 BIODIVERSITY 生物多様性	東京・奥多摩町で保有する「つなぐ森」による「循環する森づくり」を通じ、豊かな自然環境を保全するとともに私たちが開発する建物に、そこで収穫・製材した国産木材を活用するなど、CO2吸収や森林機能の向上に貢献します。	 12 つくる責任 つかう責任	 13 気候変動に具体的な対策を	 15 陸の豊かさも守ろう

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連のSDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。

サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。

URL : <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

あしたを、つなぐ